

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	企画部政策企画課	■担当係	政策マーケティング係
■評価事業名称	北上市近未来政策研究所に関する事務		
■事業開始年度	平成29年度		
■評価事業コード	010100 - 405	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり	
	■基本施策	05 効果的な行政運営と強固な財政基盤の構築	
	■施策	01 効果的かつ効率的な行政経営の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	行政ニーズを的確に把握し精度の高い政策を生み出すため、庁内のシンクタンク機能の強化として、北上市近未来政策研究所を設置・運営するもの。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	北上市近未来政策研究所に関する事務	市民等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○シンクタンクセミナー開催 5/1</li> <li>○先進地視察 6/30戸田市、春日部市</li> <li>○設置に係る内部協議(10/23二役協議、10/24政策推進会議)</li> <li>○庁議 11/10</li> <li>○研究所設置要綱制定 1/1</li> </ul>
02	調査研究事業	市民等		<ul style="list-style-type: none"> <li>RESASを活用した政策立案事業</li> <li>○現状分析資料作成 7~8月</li> <li>○研修会の開催 8/9</li> <li>○施策検討・分析資料の作成 9~12月</li> <li>○政策立案WSの開催 1/26(50名参加)</li> <li>○とりまとめ資料作成 2~3月</li> </ul>

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費				158	
人件費				8,547	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				8,705	

## 4. 評価指標等の状況

# 事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
01	研究所の設置				完了	
02	調査研究実施数				1	
03	調査研究のうち事業化に結び付いた数				0	

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

アドバイザーの助言や先進自治体の事例を踏まえ、研究所を設置することができた。また、東北経済産業局の支援を受け、製造業を中心とした当市の基幹産業に係る調査研究を行い、新たな政策の方向性を取りまとめた。

### 問題点・課題等

○自治体シンクタンクとして、研究員の専門知識やノウハウが不足している。○活動や成果等の積極的な周知が不足している。(市民に「見える」形での活動ができていない)

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

政策アドバイザーの知見を得ながら調査研究を進めていく。また、研究所のパンフレット作成等活動の周知に努める。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了